

第3回 愛荘町公共下水道事業審議会 質疑応答

●前回の振り返りについて

質問無し

●下水道使用料改定の方法について

1、資料18ページの基本使用料の考え方について、前回に基本料金の金額設定時に維持管理等の固定費分として必要な経費を算出して600円に決定していると思う。

今回についても、前回の考えを踏襲し当時の維持管理費等の変動もあると思う。建設費等を現在の価格に置き換えて基本料金を設定めるべきでは

→当時の基本使用料となった根拠が不明確な部分がある。昔の愛知川町の基本使用料は600円より高かったはず。基本使用料、従量使用料の片方だけを改定すると当時の考えのバランスも崩れると思う。事務局としてもバランスを考えながら改定をしたい。

2、C案が妥当と思うが、次回に基本料金と従量制料金のバランスの協議をお願いしたい。

→600円の基本料について、物価水準を突き詰めて算定することをせず、バランスを保つことを考えて今回の資料を作成しています。

→次回の審議会で従量制料金についても11㎡～30㎡の利用者が多い。その階層の単価上昇をさせればその上の階層にどのような影響を与えるのかお示ししたい。

0～10㎡について、高齢者単身世帯を想定しているが単価を据置くかどうか事務局で考える。

基本料金、従量制料金について改定率配分を話だすとキリが無くなるので、次回に大まかなパターンをいくつか示したい。

3、ABCのパターンで単価が1円単位となっているが10円単位にするのか。また、特定の階層だけを改定率をあげると苦情がでるのではないか？

→今回の資料は1円単位にしている。円単位の料金表は見難いので10円単位にすることを考えている。次回に円単位をまとめたイメージをお示ししたい。また、円単位を切上げ、切捨てについて協議もしたい。

4、事務局から彦根市、豊郷町の使用料改定の説明を受けたが、両市町とも基本使用料が改定前でも1,000円以上している。それでも基準外繰入金を受けているのか？

→基準外繰入金を入れていない市町は非常にレアケースである。

→次回の審議会で他市町の基本料、従量制料金の改定を比較した表をお示ししたい。

5、近所の方と話している中で100円～200円の値上なら気にならないよねと話していた。基本料が700円くらいなら大丈夫かなと思う。基本料金1,000円を超えると、え!?と思う。基本料金は100円～200円の値上にとどめてしいかなと思う。

6、漠然とした不安の中、人口も減る、使用水量も減る。5年に1度の見直しがあると聞いたが、少しずつ上げていこうと考えているのか？

→10年間は経費回収率100%達成、ギリギリ資金ショートしない改定を今回行うが、将来的な管路更新等を見据えたときに料金改定は必要となる。次の見直し時点での社会的な情勢や経済状況、下水道事業の財政状況を見ながら考えていく必要がある。

7、パターンCの深堀り資料2ページについて、基本使用料700円、従量制料金を70円、140円、150円、160円、170円、230円で試算した資料の提示をお願いします。

→まるめるのであれば感覚的にそのようなまるめ方になると思うので提示してみます。

8、まるめの提示と基本使用料700円にした場合の住民影響度、資料に出て来る想定使用者①～⑤のシミュレーション提示をお願いします。

9、パターンCでいいと思うが、最初のカラー資料11ページでは10㎡～30㎡の水量グループが多いのでそのグループの使用料改定の%を上げてもいいのかなとは思う。

→10㎡～30㎡の従量使用料の%を上げると、その上の使用水量群にも影響が出て来る。この辺りも次回お示ししたい。

10、0㎡～10㎡の階層について件数が多い、その階層の負担軽減を求めてもいいのでは

→次回の資料で提示したい。

11.資料の大規模事業者、小規模事業者は人数などで決めているのか？

→使用水量で推測したもの。パターンCの⑤大規模事業者は町内に数社しかない。一番多企業は月3万～4万㎡使われている。

12、5年か10年の見直しの細かい改定を繰り返すなら、最初から余力を見た高めの改定もどうだろうか

→今回の審議会では10年スパンでの状況を見た15%の増収改定として検討していますので今回がこの率でご理解をお願いします。